

確かな技術をベースに「映像システムソリューション」を提供している東芝テリー。コロナ禍においてさまざまな感染症対策を講じてきたなかで、本社工場の在宅勤務が難しい社員のために、機動性に優れ、設置・稼働も容易なウイルス抑制・除菌脱臭用光触媒装置UVish(ユービッシュ)を採用しました。

「映像の専門会社」として最新技術と蓄積されたノウハウを活かした製品群が高く評価されている東芝テリー。カメラ技術、画像処理技術、AI・センシング技術、高周波技術をコアテクノロジーにさまざまな産業用カメラをはじめ管内検査用カメラ、監視カメラなどを開発。本社には海外も含めた営業機能と企画から設計、生産まで一貫通体制を整えた工場部門を有しています。



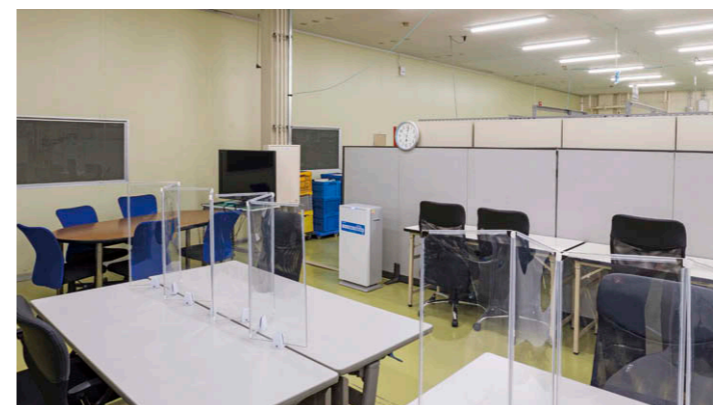
【物件概要】
所在地：東京都日野市旭が丘4-7-1
敷地面積：20,421㎡
本社工場延床面積：12,685㎡
施設：本社工場
施工：東芝テリー(株)
導入時期：2022年10月(UVish据置タイプ100、11月(ViewLED、UVish据置タイプ200)



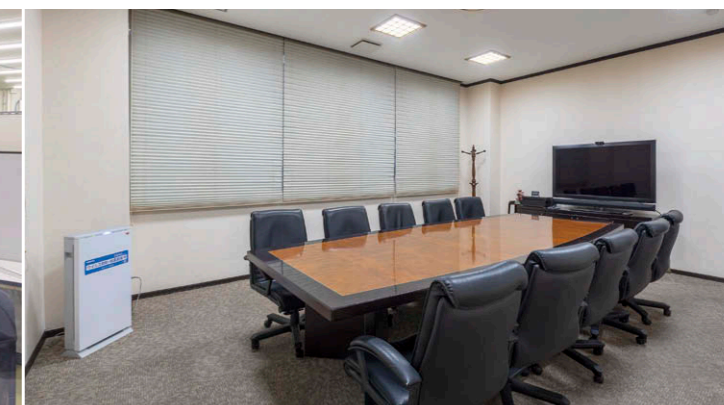
5号棟 製造エリア 棟内に一定間隔をおいて通路、機械の妨げにならないように設置されたUVish②



5号棟 製造エリア レイアウト変更が行われる際にも優れた機動性で約1,000㎡の棟内全体をカバーするように配置されるUVish②



5号棟 休憩スペース 製造エリア内の休憩スペースに設置されたUVish②



1号棟 応接室 始業時から8時間タイマーでUVish①を稼働。

換気が難しく、レイアウト変更も多い製造エリアで機動性に優れたUVish200で感染症リスクを低減。

コロナ禍において、東芝テリーではマスク着用、検温の徹底、社内各所の消毒・換気そして在宅勤務による出勤率抑制などの感染症対策、接触機会の削減対策を展開していました。しかし在宅勤務が難しい業務に従事する社員も多いため、感染リスクをさらに低減する対策を検討し、ウイルス抑制と除菌・脱臭の効果が期待できるUVishを導入しました。採用理由の一つは、UVishは通常のAC100Vコンセントで稼働が可能で、大規模な工事が不要なことです。また、設置場所は1号棟の会議室、5号棟の製造エリアで、特に後者は換気が難しく、生産性向上のためレイアウト変更

も多いのですが、UVishは移設が容易である点も決め手になりました。導入後は「見える感染症対策」が社員から支持を得ています。感染症対策とは別にショールームにはカメラ付きLED照明ViewLEDを2台設置しました。このスペースでは会社紹介のビデオ上映、製品実機の展示、サインエージによる導入事例の紹介、新製品の紹介などが行われていますが、ViewLEDにより人の流れや滞留時間を分析することができ、今後はその結果をふまえてより効果的な展示物の入れ替えやリニューアルに活用する予定です。



1号棟 ショールーム カメラ付きLED照明ViewLED③を設置。



1号棟 会議室 3部屋ある会議室に1台ずつUVish①を設置。

主な搭載器具一覧				
設置場所	器具名(品名)	形名	台数	備考
1号棟	① ウイルス抑制・除菌脱臭用 UV-LED 光触媒装置 UVish 据置タイプ 100	CSD-BZ100A	4	消費電力：静音40W、標準53W、パワフル75W
5号棟	② ウイルス抑制・除菌脱臭用 UV-LED 光触媒装置 UVish 据置タイプ 200	CSD-BZ200A	11	消費電力：静音42W、標準56W、パワフル85W
1号棟	③ カメラ付き LED 照明 ViewLED	LEET-40701SL-LS9SO+LEDX-CAM-SLWSO+LEEM-40693N-01	2	消費電力：46.2W(カメラ部含む)